

### 建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

#### 普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

#### 看護科

- 看護科
- 看護専攻科

#### 商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

#### 看護専攻科

7月5日(土)～6日(日)の一泊二日で夏期学校が行われました。総主題を「未来～将来の私たちができること～」として、例年講師としてお迎えしています富安兆子先生の講演とグループディスカッションを行いました。講演の中で、「今の自分の姿が未来を決める」というメッセージに込められた意味をみんなで真剣に考えていました。

#### 夏期学校



講演中の  
富安兆子先生



#### 保育コース

#### 3年保育実習

6月30日(月)～7月4日(金)の5日間、3年生の保育実習が近隣の愛真幼稚園・さかえ保育園・折尾丸山保育所・東筑保育園の4施設で行われました。前回の実習経験を生かし積極的に園児のお世話をしていました。



「プール遊び」で、園児と一緒に水かけをしていました。

#### 製菓衛生師コース



左から、ガトーショコラ・サブレ・バヴァアロア



Gateau chocolat lait et caramel



Sable poche chocolat



Bavaroise chocolat lait

ステファン・ピアンコニ先生



6月5日(木)、専門学校梟大原自動車大学校製菓学科講師のステファン・ピアンコニ先生をお迎えし、3年生を対象とした特別授業がありました。流暢な日本語での説明に生徒も盛んに質問していました。

募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名／看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名／商業科 120名】

推薦入試要項

学 科	コ ー ス	出 願 期 間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月21日(水)  受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

一般入試要項

学 科	コ ー ス	出 願 期 間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月28日(水)  受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成27年 1月27日(火)	国語・数学・面接  特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成27年 1月29日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成27年 2月4日(水)	国語・数学・社会・理科・英語	平成27年 2月9日(月)

学校見学会

7月12日(土)、第1回学校見学会がありました。370名をこえる中学生・保護者の参加があり、高校での授業や実習を体験しました。参加者からは、「進路の参考になった、森の中でとても気持ちがよかった、行きたくなった、授業が面白かった」などの感想が聞けました。

全大会の後、体験授業がありました。

第1回学校見学会



学校見学会のご案内

- ・学校紹介
- ・入試相談
- ・体験授業
- ・入試対策 他

第1回

7月12日  
(土) 終了

第2回

9月20日  
(土)

第3回

10月11日  
(土)

第4回

11月15日  
(土)

「草創期の黒田藩と栗山大善」 遠賀川⑤

日本書紀の仲哀天皇の条(西暦199年)に記されている岡の津(芦屋の古称)は現在の芦屋の事で、古代から歴史に出てくる港町でした。現在岡湊神社が芦屋町の鎮守の神として鎮座していますが、祭神は大倉主命、兎夫羅姫命(つふらひめのみこと)の二柱を主祭神としています。仲哀天皇が熊襲征伐の祈り、洞海湾から江川に入られ、芦屋に向かわれた折、江川で船が進まなくなります。迎えに出た岡県主の祖熊罴(くまわに)は、『船が進まないのは私の罪ではありません。この浦のほとりに、男女の二柱の神がおりまして、男神を大倉主といい、女神は兎夫羅姫命と申します。きっとこの神々のみこころによるのでしょう』と応えます。天皇は、早速二柱を祀りましたら船は進む事が出来たと云うところがあります。遠賀川の河口を岡の水門と云い、遠賀川が芦屋の集落と共に、古代史のページを飾っていることは確かなことです。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より